



産業部門(排出ガス割合:34%(H24))

排出量の現状

2005年 基準年度	2012年度			2020年度 目標年度
	想定 目標値	実績値	2005排出 係数で固定	目標値
	削減率			削減率
基準値	1,430	1,479	1,324	1,251
1,586	▲9.9%	▲6.8%	▲16.5%	▲21%

○順調

主な施策の進捗

- ・目標設定型排出量取引制度導入(▲169万t-CO2) ⇒進捗◎
 - ・中小企業の省エネ対策(H21~25融資+補助▲4.5千t) ⇒進捗○
 - ・中小企業の省エネ診断等(診断H23・24・25:169回など) ⇒進捗○
- 順調

社会の現状

- ・景気回復(H25の経済成長率:2.3%(実質))
- ・火力発電の増加(⇒排出係数+40%(H22→H24))
- ・電力需給逼迫に伴う節電・省エネの定着

今後の課題

- ・景気回復に伴う生産量増大
- ・電力需給の動向、節電、省エネ意識
- ・排出量取引の対象となるクレジット価格の動向

施策の方向

- ・大規模事業所の省エネ推進⇒目標設定型排出量取引制度第2計画期間の円滑な運用
- ・中小企業の省エネ推進⇒中小企業ESCO等エネルギー消費量削減の支援
- ・次世代エネルギーの開発促進⇒水素エネルギー活用に関する調査の実施



業務部門(排出ガス割合:14%(H24))

排出量の現状

2005年 基準年度	2012年度			2020年度 目標年度
	想定 目標値	実績値	2005排出 係数で固定	目標値
	削減率			削減率
基準値	538	628	519	456
610	▲11.8%	+3.0%	▲14.9%	▲25%

△厳しい

主な施策の進捗

- ・目標設定型排出量取引制度導入(▲26万t-CO2) ⇒進捗◎
 - ・建築物環境配慮計画制度(平均削減率27%) ⇒進捗○
 - ・既存建物のエコオフィス化(補助⇒1.4万t-CO2) ⇒進捗○
- 順調

社会の現状

- ・景気回復(H25の経済成長率:2.3%(実質))
- ・火力発電の増加(⇒排出係数+40%(H22→H24))
- ・電力需給逼迫に伴う節電・省エネの定着

今後の課題

- ・景気回復に伴う商業等の活性化
- ・電力需給の動向、節電、省エネ意識、都市の低炭素化の推進
- ・排出量取引の対象となるクレジットの動向

施策の方向

- ・大規模事業所の省エネ推進⇒目標設定型排出量取引制度第2計画期間の円滑な運用
- ・中小企業の省エネ推進⇒中小企業ESCO等エネルギー消費量削減の支援
- ・次世代エネルギーの開発促進⇒水素エネルギー活用に関する調査の実施

家庭部門(排出ガス割合:23%(H24))

排出量の現状

2005年 基準年度	2012年度			2020年度 目標年度
	想定 目標値	実績値	2005排出 係数で固定	
	削減率			
762	631	1,019	789	481
	▲17.2 %	+ 33.7%	+3.6%	▲37%

×大変厳しい

主な施策の進捗

- ・太陽光発電の普及拡大(補助)(7.6万基⇒▲3.3万t-CO2) ⇒進捗○
 - ・エコライフDAYの普及拡大(参加者数H24:122万人) ⇒進捗△
 - ・低炭素型行動を促す地域エコポイント制度の普及促進 ⇒進捗△
- △厳しい

社会の現状

- ・太陽光発電の普及(FIT、パネル価格低下)
- ・電力需給逼迫に伴う節電・省エネの定着
- ・世帯数(特に単独世帯)の増加

今後の課題

- ・余剰電力買取制度の動向
- ・電力需給の動向、節電、省エネ意識
- ・都市の低炭素化、住宅の省エネルギー基準の動向

施策の方向

- ・太陽光発電の普及拡大⇒地域密着型事業、屋根貸し事業、頭金なしローン事業
- ・住宅の省エネ化の促進⇒省エネルギー基準適合義務化に向けた住宅省エネ性能の向上
- ・家電・設備の省エネの推進⇒HEMS+エネファーム等の普及、省エネ家電の普及等

運輸部門(排出ガス割合:23%(H24))

排出量の現状

2005年 基準年度	2012年度			2020年度 目標年度
	想定 目標値	実績値	2005排出 係数で固定	
	削減率			
1,049	909	995	983	749
	▲13.3 %	▲5.1%	▲6.3%	▲29%

△厳しい

主な施策の進捗

- ・次世代自動車の普及(H24普及率6.7%) ⇒進捗○
 - ・エコドライブの普及(講習会参加者H20~24延べ3,318人) ⇒進捗△
 - ・自動車利用の抑制 ⇒進捗△
- △厳しい

社会の現状

- ・自動車台数の増加
- ・自動車の燃費向上
- ・景気回復に伴う走行距離の増加

今後の課題

- ・EV、PHVなどの一層の普及促進
- ・自動車走行距離の抑制
- ・燃料電池車(FCV)の普及

施策の方向

- ・EV、PHVの更なる普及⇒充電器等のインフラの整備
- ・自動車利用の転換⇒近距離での自転車利用の促進、公共交通機関の利用促進等
- ・FCVの普及⇒水素インフラ整備に係る規制緩和



廃棄物その他(排出ガス割合:6%(H24))

排出量の現状

2005年 基準年度	2012年度			2020年度 目標年度
	想定 目標値	実績値	2005排出 係数で固定	
	削減率			
基準値	削減率			目標値
290	288	275	275	285
	▲0.8%	▲5.1%	▲5.1%	▲1.7%

◎大変順調

主な施策の進捗

- ・みどりと川の再生(彩の国みどりの基金H20~25:5,060ha)⇒進捗○
 - ・流域下水道の整備(汚泥の高温焼却H24▲7万2千t) ⇒進捗○
 - ・高効率ごみ発電施設の導入(5団体予定▲3.4万t) ⇒進捗○
- 順調

社会の現状

廃棄物処理量は横ばい

・代替フロン(HFCs)の排出量増加

今後の課題

・景気回復による廃棄物処理量の増加

・代替フロンの使用時の漏えい防止

施策の方向

・3R等廃棄物削減の推進

・フロン類の使用の合理化及び管理の適正化の推進